

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年8月21日（月）

2 確認箇所

- ・中継タンク（5基）（雨水処理設備）

3 確認項目

中継タンクの状況

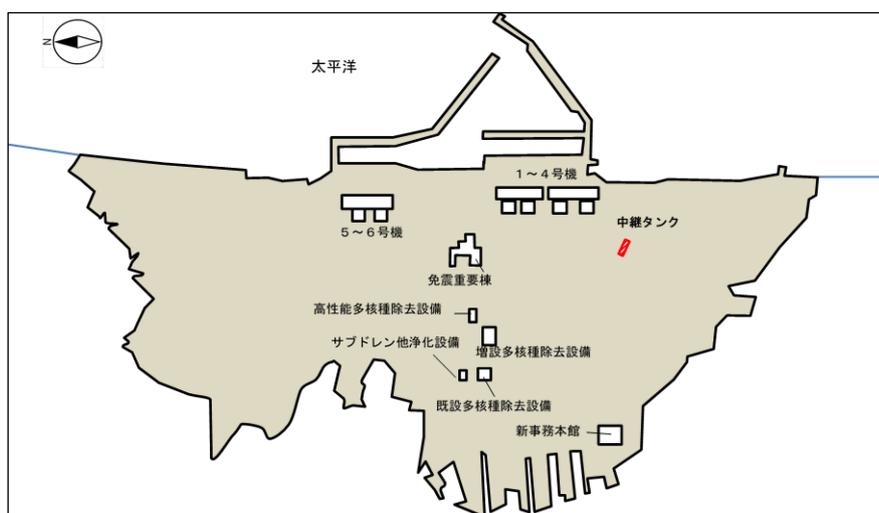
4 確認結果の概要

タンクエリアの堰内に溜まった雨水は、雨水回収タンクに回収され放射能分析を行い、散水基準を満たしていることを確認した後に発電所構内に散水されている。

雨水回収タンクへ貯められた雨水を分析した結果、基準^{*}を満たさない場合は、逆浸透膜装置（以下「RO膜装置」という。）で浄化处理される。今回はRO膜装置へ雨水を移送する際に経由する、中継タンクの状況を確認した。（図1）

※¹³⁴Cs, ¹³⁷Cs, ⁹⁰Sr, ³Hの放射性物質濃度を測定し、告示濃度限度比の和が0.22以下。

- ・中継タンクは5基の溶接型タンクであり、コンクリート製の堰によって囲われていた。（写真1）
- ・5基のタンクは隣接したタンク同士が連結弁によってつながれており、連結弁は「開」状態だった。（写真2）
- ・中継タンクの付近にはタンクの水を他のRO膜装置に移送するための移送ポンプや、中継タンクに接続される配管が集まった中継タンク入口ヘッダーが入った小屋が2つあった。（写真3）
- ・いずれのタンク本体、堰、配管等にも異常は見られなかった。



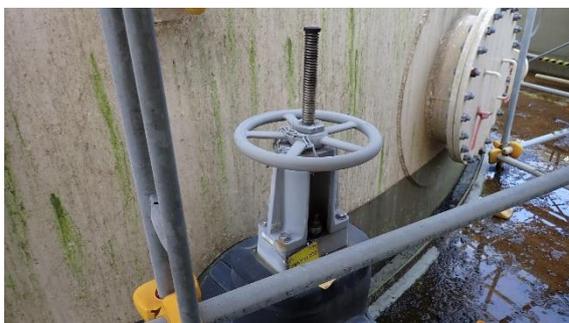
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
中継タンクの外観



(写真2-1)
中継タンク連結弁の状況(1)



(写真2-2)
中継タンク連結弁の状況(2)



(写真 3-1)

移送ポンプ、配管ヘッダーなどが納められた小屋。同じ規模の小屋が写真左にもう一つある。



(写真 3-2)

小屋内部の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。